

1. 単元名『ハンドボール』(7時間計画)

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

2つのチームが入り交じり、お互いに相手チームの防御をかわし、パスをしながらゴールまで運び、手で投げ入れてシュートし、得点を競い合っ楽しむ運動である。

(2) 子どもから見た特性

A 楽しさ体験の状況

本学級の子どもたちは、事前の意識調査から、85%がボール運動を「とても好き」「好き」と答えている。その理由として、「ボールを投げたり、取ったりできるから」「ボールを追いかけるのが好きだから」「とく点を決めるのが楽しいから」など、ボール運動の特性に触れることで楽しさを感じている。また、チームで協力してボールをつないで楽しさを味わってきている。一方で、「少し嫌い」「嫌い」と答えた理由としては、「当たると痛い、こわいから」「男の子が強いから」「うまく投げられないから」とボール操作への抵抗感や人にぶつかったり、ボールにぶつかったりする恐怖感をもつ子もいる。一学期は、ラグビーを経験し、チームで作戦を考えたり、攻め方や守り方を工夫したりしながら、ボール運動の楽しさを味わってきている。

B 技能の習得状況

子どもたちの投げる技能は、5月の新体力テストのソフトボールにおいて平均約12球である。女子は、10球以上投げられる子は、いない状況である。男子には、30球以上投げる子もいる。休み時間にドッジボールの投げ方を見てみると、オーバースローで投げられる子が少なく、横から投げる子が多い。全体的に投げる力が低く、男女差も大きい。

また、ラグビーの攻守入り乱れ型の学習において、ねらった所に投げたり、パスをつないだりする基本的な動きができていない子は少ない状況である。しかし、学習が進むにつれ、空いているところに動くことやパスのつなぎ方の工夫をできるようになってきている。

C 学び方に関する学習経験の状況

一学期は、学習を進めるにあたって、場作りの役割分担や学習ノート使ったのめあて作りを支援してきた。場作りのための役割分担や手順を明確にしたり、単位時間のゲームの進め方を提示したりすることで、進んで学習に取り組めるようになってきている。

ルール・マナーについては、勝敗に対して公正な態度がとれるようになってきている。また、自分たちが楽しめるようにルールを工夫できるようになってきた。

めあてについては、ラグビーの学習で、チームの課題を明確に持つことはできず、チームでめあて・作戦を決めていても、ゲームになると意識できずに活動することが多かった。また、学習ノートについても、活用の仕方が不十分だったため、チームタイムの話し合いがうまくいかないことが多かった。

3. 学習を進めるにあたって

子どもたちが自らめあてをもち、ゴールに向かってシュートをしたり、チームで協力して作戦を考えたり、攻め方を工夫したりして、ハンドボールを楽しむことができるように以下のような手立てを考えた。

(1) 単元構成の工夫

毎時間の導入時にハンドボールに必要な基礎感覚を高めるために、慣れの運動を位置づけ、ボールの投げ方や受け方助言していく。また、学習過程は、ステージ型をとり、めあて1では総当たり戦、めあて2では、対抗戦を行っていく。

オリエンテーションでは、学習の進め方や基本的なルールを確かめて、試しのゲームを行う。その際、うまくいかなかったところやよかったところを話し合わせて、次時からの総当たり戦に向けてチームで振り返らせる。

めあて1では、ハンドボールのルールや学習の進め方に慣れるように、コート準備やゲームの進め方、得点のつけ方などを、確かめながら進めていく。動きに関しては、基本的なボールの投げ方・捕り方を中心に助言する。

めあて2では、チームで攻め方の作戦を立てさせ、動きに関する助言をしながら進めていく。めあて1で身に付けた技能を生かして、チームで楽しむために攻め方・守り方を工夫できるようにする。また、チームタイムでの話し合いを充実させるために、めあての振り返りや練習の方法をリーダーにあらかじめ助言を与えておく。

(2) 子どもの実態に合っためあてをもたせるための支援の工夫

活動の場や用具、ルール

- ・休み時間などを使って、練習に取り組めるように、各チームにボールを用意し、ボールに触れる機会を保障する。
- ・子どもたち活動量を保障するために、3コートを作り、試合ができるようにしておく。
- ・はじめは簡単なルールを提示し、はじめて出合うハンドボールのゲームに慣れるようにする。ドリブルは使わずに、パスを使って展開し攻めるようにルールを設定する。
- ・コートは、25メートル×12メートルを作り、4対4で行い、空いているスペースをうまく使えるように設定する。

【ハンドボールのルール】

- ・1チーム5～6人の6チームを編成する。
- ・試合時間は、前半4分、後半4分の計8分とする。
- ・ゲームする人数は、4対4で行う。
- ・ボールをドリブルせずに、パスでボールを運ぶ。
- ・ボールを持って3歩以上歩いてはいけない。
- ・シュートゾーンの外からゴールの中にボールが入ったら、得点とする。
- ・サイドラインから出たら、相手チームのスローイングで始める。
- ・反則があったら、サイドラインから相手チームのスローイングで始める。
- ・始まりは、コート真ん中からフリーパスで始める。得点が入った後も、相手ボールのフリーパスでスタートする。
- ・守るとき、相手の体に触ってはいけない。
- ・審判は、セルフジャッジで行う。

学習ノート・学習カード

- ・単元の見通しがもてるように、チームノートに学習の流れを貼るようになる。
- ・チームのめあてを一人一人が確かめられるように、個人ノートと組み合わせることができるようにしておく。また、個人の振り返りが、次時のチームのめあてにつながるようになる。
- ・作戦がうまく立てられないチームには、あらかじめ作戦の立て方の例をチームノートに示しておく。

「めあてカルテ」を活用した教師の声かけ

- ・子どもたちの立てたチームのめあてや個人のめあてが、実態にあってない場合は、カルテをもとに助言する。また、自分たちのチームにあった作戦になっているか確かめるために、ゲームを始める前や終わった後に、カルテをもとに助言する。

(3) めあてを解決するための支援の工夫

活動の場や用具，ルール

- ・ボールは、子どもたちが片手でつかんで投げられるように、ソフトハンドボールの0号球を使用する。
- ・シュートゾーンを6メートルの半円とし、様々な角度からシュートが打てるようになる。
- ・クラスの間みんながハンドボールを楽しめるように、初めのルールを工夫したり、変更したりできるようにしておく。

学習ノート・学習カード・声かけボード

- ・めあて2において、ゲーム1で立てた簡単な作戦でうまくいったところや修正したいところをチームノートを使って話し合わせる。その際、自分たちの動きを具体的に把握できるように、作戦ボードを使ってチームの作戦を確認させる。
- ・ゲームが活性化するように、子ども同士でかけ合う声かけを『攻めの声』『守りの声』『励ましの声』の三つに整理し、ゲーム前やチームタイムの時に子どもたちに助言し、実際にゲーム場面で活用させる。また、短冊のカードを用意しておき、いつでも書けるようにしておき学級に掲示しておく。
- ・作戦の立て方がわからないチームに、作戦の例示を用意しておき、必要に応じてチームタイムで提示する。

「めあてカルテ」を活用した教師の声かけ

- ・前時までのゲームの様子をチームノートや個人ノート等から把握し、本時に支援するチームを決めておく。得点があまり入らないチームには、「ボールをうばったら、すぐにゴール前に走りこもう!」「ゴール近くのあいているところを探してパスをもらおう!」また、パスがつながらないチームには、「マークをはずしてパスをもらおう!」「パスをもらう前に、あいている味方をさがしておこう!」等の助言をする。
- ・シュートやパス、ディフェンスなどのナイスプレーは、大きく賞賛していく。また、チームの実態に応じて、どんな助言を与えるのかめあてカルテをもとに、事前に考えておき、チームタイムやゲーム中に積極的に声かけしていく。

4. 学習のねらいと道すじ

(1) 学習のねらい

みんなで協力して、攻め方や守り方などの作戦を工夫しながら、ハンドボールを楽しむ。

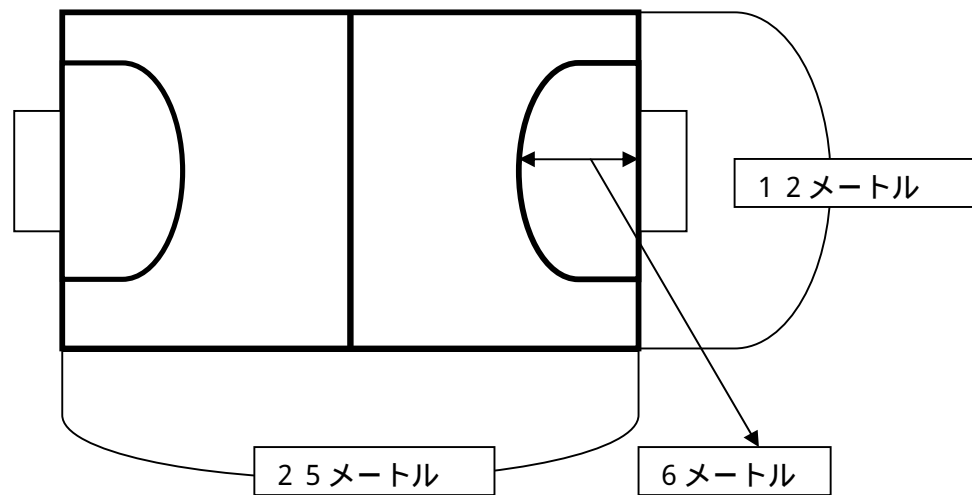
(2) 学習の道すじ

めあて1 かんたんなハンドボールのルールになれて、

いろいろなチームに挑戦してゲームを楽しむ

めあて2 チームでかんたんな作戦を工夫して、対戦したいチームに挑戦してゲームを楽しむ

【コート図】



5. 単元計画 (全7時間)

	1	2	3	4	5	6 (本時)	7															
指導内容	コート作りやハンドボールのルールを理解させる。	ボールの投げときの腕の使い方、体の使い方やボールのキャッチの仕方を知らせる。(シュートやパスの仕方)		ピンチボール・チャンスボールを知らせる。		あいているスペースを使った攻め方を知らせる。																
0	1. 学習の準備をし、めあての確認をする。	1. 学習の準備とめあての確認をする。 グループごとにコート・用具の準備をする。(役割分担をしておく)		チームのめあてを確認する。																		
10	2. オリエンテーション 【コート・ルール】 ・3コート【25m×12m】 ・1チーム5～6人 ・6チーム編成 ・GKはなし ・ゲーム時間【8分】 ・得点したら、相手チームがセンターラインから始める。 ・サイドラインから出たら相手チームからスローインをする。 ・ボールを3歩以上持って歩いではいけない。 ・セルフジャッジ	2. 慣れの運動をする。(5分) シュート練習をする。(ねらった所にシュートする。) 【ターゲットシュート】 (めあて1)ハンドボールのルールや動きになれながら、いろいろなチームに挑戦して楽しもう。(総当たり戦)		パス練習をする。(相手がとりやすい所に投げる・パスしたら走る) 【パニックパス・パスアンドシュート】 (めあて2)簡単な作せんを工夫して、ゲームを楽しもう。(対抗戦)																		
20	3. ハンドボールをする ・ゲーム (8分流し～4分で交代) ・得点したら、相手チームがセンターラインから始める。 ・サイドラインから出たら相手チームからスローインをする。 ・ボールを3歩以上持って歩いではいけない。 ・セルフジャッジ	3. ハンドボールをする (総当たり戦) ・ゲーム (8分流し～4分で交代)	<table border="1"> <tr><td></td><td>あ 対 う</td><td>あ 対 お</td></tr> <tr><td></td><td>い 対 か</td><td>い 対 う</td></tr> <tr><td></td><td>え 対 お</td><td>え 対 か</td></tr> </table>		あ 対 う	あ 対 お		い 対 か	い 対 う		え 対 お	え 対 か	3. ハンドボールをする 【対抗戦での相手の選び方】 リーダー会議を開き、対戦したい相手を決めておく。 作戦をためして、ゲームに勝つぞ。		あいているところを見つけて走ろう。	パス&ランを使って、シュートまでいこう。						
	あ 対 う	あ 対 お																				
	い 対 か	い 対 う																				
	え 対 お	え 対 か																				
30	3. ハンドボールをする <table border="1"> <tr><td></td><td>あ(赤)対い(白)</td></tr> <tr><td></td><td>う(青)対え(黄)</td></tr> <tr><td></td><td>お(緑)対か(橙)</td></tr> </table>		あ(赤)対い(白)		う(青)対え(黄)		お(緑)対か(橙)	3. ハンドボールをする (総当たり戦) ・ゲーム (8分流し～4分で交代)	<table border="1"> <tr><td></td><td>あ 対 え</td><td>あ 対 か</td></tr> <tr><td></td><td>い 対 お</td><td>い 対 え</td></tr> <tr><td></td><td>か 対 う</td><td>う 対 お</td></tr> </table>		あ 対 え	あ 対 か		い 対 お	い 対 え		か 対 う	う 対 お	・ゲーム (8分流し～4分で交代～) チームの作戦を生かしてゲームをする。 ・チームタイム(8分) ゲームを振り返り、修正点をチームで話し合う。 課題となったところをチームで練習する。 ・ゲーム (8分流し～4分で交代～) チームタイムでの話し合いや練習を生かしてゲームをする。		攻め方をかえて、他の作戦をためしてみよう。	【作戦の例】 そっこう作戦 まちぶせ作戦 れんぞくパス作戦 マーク作戦
	あ(赤)対い(白)																					
	う(青)対え(黄)																					
	お(緑)対か(橙)																					
	あ 対 え	あ 対 か																				
	い 対 お	い 対 え																				
	か 対 う	う 対 お																				
40	4. 学習の振り返りと片付け うまくできたことやできなかったことを発表し合う 2分以内で片づける	4. 学習の振り返りと片づけ 予想されるつまずきと支援 【個人の動きに関すること】 うまくボールを投げられない 腕を後ろに大きくふりかぶって、足を踏みこんで投げよう。 うまくボールをキャッチできない 両手をしっかり開いて、自分の体の正面でとろう。	4. 学習の振り返りと片づけ 予想されるつまずきと支援 【チームの動きに関すること】 得点がかんか入らない ゴール前にすばやく走りこもう。 ボールをうばったら、すぐにゴール前へパスしよう パスがかんかつながらない あいている味方をさがしてパスをしよう。 マークをはずして、パスをもらおう。 守りがかんかしくない 一人一人マークを決めて、ゴール前で守ろう。 ゴールエリアを取り囲むように守ろう。	4. 学習の振り返りと片付け ナイスプレーを発表しあう チームでゲームを振りかえり、次時のめあて(作戦)を立てる。																		
子ね どら もう の 姿	学習の進め方や初めのルールが分かり、次時への意欲を高めている。	チームで友達と協力しながら、準備しようとしている。 ハンドボールのルールに慣れて、パスをつないでシュートしようとしている。 ボールの投げ方に気をつけて、パスしたり、シュートしたりしようとしている。		チームでかんたんな作戦を工夫して、意識しながらゲームを楽しんでいる。 空いているスペースを見つけて、動いてパスをもらったり、パスを出したりしてシュートまでつなげてゲームを楽しんでいる。 チームで協力しながら、「ピンチボール」「チャンスボール」の声かけをして攻守の切り替えをしている。																		

6. 本時(6/7)時間目 10月20日(月) 5校時 於 運動場西側

7. 本時学習を進めるにあたって

前時まで、子どもたちは、めあて1においてハンドボールのルールや動きに慣れ、チームでパスをつないで攻めたり、得点を競い合ったりしながらハンドボールを楽しむようになってきた。また、毎時間の慣れの運動のシュートやパス練習を通して、基本的なボールの投げ方や捕り方も少しずつ上達してきた。さらに、めあて2の対抗戦では、チームで攻め方や守り方の作戦を工夫して立てたり、お互いに攻めや守り、励ましの声かけをしたりしてチームとしてのまとまりもみられるようになってきた。しかし、チームで作戦を立ててはいるが、ゴール前の空いているスペースに動いて走り込んだり、フリーになっている味方にパスをつないで攻めたりしてシュートにつなげるところまでには至っていない。

そこで本時では、『チャンスボール』になったときの空いているスペースへの走り込み方やマークをはずしてフリーになる動き方を中心に支援していく。

慣れの運動では、これまでに行ってきたシュートやパス練習を『パス・アンド・シュート』として、組み合わせた動きを経験させる。具体的には、パスを出した後に必ず走り、もう一度パスを受けてシュートする動きを繰り返し取り組ませる。

ゲーム では、チームで立てた作戦を意識できるように、めあてカルテをもとに実態にあった声かけを行っていく。橙チームには、パスはつながるようになったがなかなか得点ができないので、ゴール前に走り込むタイミングに『ゴール前に上がれ!』『チャンス!チャンス!前へ走れ』などの声かけで助言を与えていく。また、赤チームには、空いているスペースを見つけることができずシュート場面が増えないため、『サイドに広がって!』『シュートゾーンに近づいて!』などの声かけをしていく。全体的に攻守の切り替えがうまくできていないので、チャンスボールとピンチボールの声を助言し、展開の速いゲームになるようにしていきたい。

チームタイムでは、チームノートを使ってゲーム を振り返って作戦を見直したり、ゲーム に向けての作戦を考えたりさせる。また、作戦ボードを使って一人ひとりの動きを確認させ、ゲーム に生かせるように助言していく。練習では、チームでの課題をもとにパスやシュート練習、2対1や3対2の練習などに取り組ませる。

ゲーム では、チームタイムで話し合ったり、練習したりしたことが生かせるようにゲーム中に声かけをしていく。橙チームを中心に、空いているスペースに走る動きを助言する。

学習のまとめでは、作戦でうまくいった動きやナイスプレーなどを発表させ、他のチームに広げていきたい。また、チームノートを使って、本時のゲームを振り返り、次の試合でやってみたい作戦を話し合わせて、次時の対抗戦へつなげていく。

8. 本時のねらい

チームで作戦を工夫しながら、意識してゲームをすることができる。

空いているスペースを見つけて、動いてパスをもらったり、パスを出したりしてシュートまでつないでゲームをすることができる。

9. 準備

- ・ 単元計画表 ・ 対戦表 ・ 作戦カード ・ チームノート ・ 個人ノート ・ 声かけボード
- ・ ソフトハンドボール ・ ゼッケン ・ 得点板 ・ タイマー ・ マーカー ・ コーン

10. 本時の展開 (6 / 7)

展開	学習活動と内容	支援【全体 グループ 個人】						
0 5	<p>1. 学習の準備と慣れの運動をする。 グループで協力して場作りをする。 慣れの運動をする(パスアンドシュート)</p> <p>2. めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>(めあて) チームで作戦を工夫して、 ゲームを楽しもう。</p> </div>	<p>安全に気を付けてゴールを準備させる。 「投げる手と反対の足をしっかりふみこんで投げよう!」と投げ方を助言する。(Nさん、Hくん)</p> <p>空いている所を見つけて走り込んだり、パスをもらったりすることを助言する。</p>						
	<p>(赤) あいているところに動いてパスをもらってシュートしよう (白) パスをうまくまわして、シュートにつなげよう (青) マークされていない味方を見つけてすばやくパスを出そう (黄) あいているところにすばやく動いて声を出そう (緑) みんなでパスをまわしてシュートをきめよう (橙) 相手がボールをもったら、二人ですばやくうばいに行く</p>							
10	<p>個人のめあてを確認する。 チームのめあてを確認する。</p>	<p>チャンスボール、ピンチボールの確認を学習カードを活用して、意識化を図る。</p>						
15	<p>3. ゲーム をする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">Aコート</td> <td style="width: 33%;">Bコート</td> <td style="width: 33%;">Cコート</td> </tr> <tr> <td>白VS橙</td> <td>赤VS青</td> <td>緑VS黄</td> </tr> </table> <p>チャンスになったら、ゴール前に走り込みパスをもらって、シュートする。 相手のマークをはずして、フリーになってパスをもらう。 パスを出したら、空いているところに動く。</p>	Aコート	Bコート	Cコート	白VS橙	赤VS青	緑VS黄	<p>橙チームに、ゴール前の空いているスペースに走り込むタイミングを声かけする。 「ゴール前に走り込め!」「チャンス!」 赤チームに、広がってパスをつないだり、空いている味方にパスをしたりして、シュートできるように助言する。 「サイドに広がって!」「シュートゾーンに近づいて!」 Yさんに攻守の切り替えの声かけをする。</p>
Aコート	Bコート	Cコート						
白VS橙	赤VS青	緑VS黄						
25	<p>4. チームタイムをする。 ゲーム を振り返って、うまくいった作戦やよかった声かけを学習ノートに記入し、ゲーム に向けて作戦を立て直して練習を行う。</p>	<p>作戦ボードを使って、自分の動きを確かめさせ、ゲーム に向けて練習の仕方を助言する。「パスがつかないときは、相手のマークをはずしてもらおう!」</p>						
30	<p>【パス練習・パスからシュートの練習 2対1・3対2など】</p>	<p>橙チームに、味方からパスをもらう位置を確認させ、素早くシュートすることを助言する。</p>						
40	<p>5. ゲーム をする。 チームタイムの話し合いや練習を生かしてゲームをする。</p>	<p>チームタイムで確認したことを意識させて、ゲームに取り組ませる。</p>						
45	<p>6. 本時のまとめをする。 チームで今日のゲームを振り返り、次の作戦を立てる。 うまくいった作戦や他のチームのナイスプレーを発表し合う。 協力して、素早く後かたづけをする。</p>	<p>動きがよくなったチームやナイスプレーに称賛をあたえる。 作戦がうまくいったチームや空いているスペースを上手に使っていたチーム・個人を称賛し、全体に広げる。</p>						

10. 本時の展開

時間	学 習 活 動 と 内 容	
3:30	1. はじめの言葉 2. 準備運動・慣れの動き 簡単なストレッチ ボール慣れの動き ・ボールの紹介 ・一人で遊ぶ ・ペアで遊ぶ ・グルーピング(6チーム編成)	アンケート用紙、学習ノート(チームノート、個人ノート)、作戦カード等 黄色のスポンジボールを20個用意。 ゼッケン6色用意。
3:45	3. 場作りをする【西側に3コート】 ゴール運び、コート、用具の準備 役割分担(ノート係、コート係、得点板係、タイマー係、ゼッケン係)	3コート(マーカーでラインを準備) チームノート、タイマー、得点板、作戦ボード
3:50	4. 今日のみあてを確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (めあて) チームで協力して、練習や作戦を工夫しながらゲームを楽しもう。 </div> 基本のルール・学習の進め方の説明 用具・場の説明	基本のルール表 各コートに補助を1人
3:55	4. ゲーム をする(4分~1分~4分) Aコート【赤 対 青】 Bコート【黄 対 白】 Cコート【橙 対 緑】	作戦カードの提示、停滞チームへの助言
4:05	5. チームタイム(8分) ゲーム の振り返りをする ゲーム に向けて作戦を修正する	作戦ボードを活用する(話し合いの場・練習内容の助言)
4:15	6. ゲーム をする(4分~1分~4分) (同じチームと対戦)	
4:25	7. 本時を振り返り、学習のまとめをする よかった動き、楽しかったことを発表する 後片づけをする	よかった動きを称賛し、全体に紹介する

～ハンドボール学習計画(7時間)～ 児童提示用

1 時間目	2 時間目	3 時間目	4 時間目	5 時間目	6 時間目	7 時間目			
<h1 style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ハンドボール</h1> <p>チーム分け ルールのかくにん 学習の進め方 ボールなれの運動 ゲーム</p>	<p>1. コートを作り、用具のじゅんぴをする。(やくわり分たんしておく) 2. ボールなれの運動をする。 スローイング、シュート、パスまわし 3. めあてや作せんをたしかめる。(チームノート・こ人ノート)</p>			<p>【めあて1】 ルールや動きになれてハンドボールを楽しもう。【そう当たり戦】</p> <p>4. ハンドボールをする。 ゲーム をする。(8分) チームタイムでめあてをたしかめる。 ゲーム をする。(8分) 4分でメンバーチェンジをする。</p> <p>5. 学習のまとめをし、後かたづけをする。 チームノートをつかってふりかえりる。 チームのめあてでよくできたことを発表する。 コートやルールについて。 後かたづけをする。(3分いないで)</p>			<p>【めあて2】 かんたんな作せんを立ててハンドボールを楽しもう。 【たいこう戦】</p> <p>4. ゲーム をする(8分) 4分でメンバーチェンジ</p> <p>5. チームタイムをする ゲーム をふりかえり、チームでれん習 せめ方、まもり方のくふう</p> <p>6. ゲーム をする(8分) 4分でメンバーチェンジ</p> <p>7. 学習のまとめをして、後かたづけをする チームノートをつかってふりかえりる。 チームのさくせんでよくできたことを発表する。 よかった動きや声かけをしょうかいする。</p>		

	主な指導・支援 全体 チーム 個人	子どもたちの様相 全体 チーム 個人															
0	<p>1. 学習の準備をし、めあての確認をする。(教室)</p> <p>2. オリエンテーションをする。 学習の進め方、単元の計画、チームノートの使い方を助言する。 チームでの仕事分担をチームノートに記入させる。 (学習ノート、得点板、タイマー、マーカー、ゼッケン、コート) 基本のルールを確認し、分からないことなどを質問させる。 日本代表宮崎選手のハンドボールDVDを視聴し、イメージをもたせる。</p>	<p>事前に、リーダーと話し合い、チーム編成や学習の進め方について説明を行っておく。</p> <p>学習ノートの使い方は、タグラグビーと同じ事もあり、理解はできている。</p>															
10	<p>3. 慣れの運動をする。 二人に一個ボールをもたせ、投げあいっこさせる。その際、投げ方のポイントを助言する。 『ひじを高く上げて』 『投げる手と反対の足を踏み込んで』</p>	<p>宮崎選手の動きに、ハンドボールへの意欲を高めている。早くボールを投げたり、シュートしたりしたい気持ちが高まっている。</p>															
20	<p>4. ゲームをする。【総当たり戦】 フリーパスの場所やボールをもって走らないことを助言する チームで固まらないように『広がって動く』ことを助言する。</p>	<p>片手でボールをつかむことができている。女子の投げる力が弱い。 上手に投げられる子を全体に紹介したことで、投げ方のコツをつかんだ子もいる。</p>															
30		<p>ゴール前に並んで、ボールを止めるチームがある。 ボールをもって走る子やどこに動いていいかわからない子が、立ち止まっている。</p>															
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">赤 5対1 青 ・ 白 0対1 橙 ・ 黄 0対7 緑</td> </tr> </table>			赤 5対1 青 ・ 白 0対1 橙 ・ 黄 0対7 緑														
赤 5対1 青 ・ 白 0対1 橙 ・ 黄 0対7 緑																	
40	<p>5. 振り返りと片付け グループごとに今日のゲームを振り返らせ、チームノートに記入させる。 次の時間のめあてを立てさせる。 安全に片付けることを確認させる。</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>【楽しさ】</td> <td>【協力】</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>26名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>4名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0名</td> <td>3名</td> </tr> </table>		【楽しさ】	【協力】	A	26名	19名	B	4名	8名	C	3名	3名	D	0名	3名
	【楽しさ】	【協力】															
A	26名	19名															
B	4名	8名															
C	3名	3名															
D	0名	3名															

【考察】

どの子も片手でボールをつかむことができていた。また、初めてのルールということもあり、タグラグビーのようにボールをつかんだまま走る児童が何名かいた。しかし、ゴールに向かって攻めたり、自分たちのチームのゴールを守ったり、攻守入り乱れ方のゲーム展開ができていた。全体的に投力のある子が遠くから、シュートをねらっている。

3年 組『チャレンジ!ハンドボール』授業記録 【第2時】10月8日(水)

	主な指導・支援 全体 チーム 個人	子どもたちの様相 全体 チーム 個人												
0	<p>1. 学習の準備をし、めあての確認をする。(場・用具) コート図、役割分担表を提示し、準備しやすいようにする。</p> <p>2. 慣れの運動をする。 【ターゲットシュート】</p>	<p>自分の用意する場所が分からない子もいる。コート作りに5分ほどかかった。</p>												
10	<p>ゼッケンに向かってシュートすること、シュートゾーンの外からシュートすることを助言する。</p> <p>3. ゲーム 【総当たり戦】</p>	<p>足をしっかり踏み込んでシュートしているが、強く投げられない子もいる。(女子に多い)</p> <p>何名か、横投げをしている子がいる。</p>												
<p>赤 4対7 青 ・ 白 1対2 橙 ・ 黄 5対3 緑</p>														
20	<p>技能的に低い子やうまくいかないグループに対して助言をする。 得点がなかなか入らないチームには『ゴール前にはしりこもう』 『ボールをとったら、ずばやく前へ』 赤チームに、全員にパスを回すことを助言する。</p>	<p>をもっていない人が、止まったままボールを受けようとしている。 (Yさん)どこに動いたらいいか分からない。 赤チームは、男の子二人でボールを回し、女子がボールになかなかさわれない。</p>												
30	<p>4. ゲーム 【総当たり戦】</p>													
<p>赤 2対6 黄 ・ 白 2対3 緑 ・ 橙 1対9 青</p>														
40	<p>緑チームに、長いパスを使ってシュートまでいけるように、声かけをする。</p> <p>5. 振り返りと片付け 動きのよかったプレーやパスがよくつながっていたグループを称賛することで、次時への意欲を高めさせる。</p>	<p>オレンジチームが、パスがつかない。シュートまでボールを運べない。 【楽しさ】 【協力】</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>26名</td> <td>26名</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>6名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> </table>	A	26名	26名	B	6名	4名	C	0名	3名	D	1名	0名
A	26名	26名												
B	6名	4名												
C	0名	3名												
D	1名	0名												

【考察】

チャンスになったら前へ走ることを助言したため、ゲームの展開が前時よりも活発になった。しかし、全体的にボールに集まりすぎてしまい、パスがうまくつながらなかった。動く場所を助言することが必要である。

ボールをもっていない子が、どこでボールを受けたいか分からずに立ち止まってパスをもらおうとする姿が見られる。あいている所をゲームの中で声かけし、動いてパスをもらうことを助言する必要がある。

3年 組『チャレンジ！ハンドボール』授業記録 【第3時】10月10日(金)

	主な指導・支援 全体 チーム 個人	子どもたちの様相 全体 チーム 個人												
0	<p>1. 学習の準備をし、めあての確認をする。 (場・用具) 自分のコート作りの役割を果たしているか確認させる。</p> <p>2. 慣れの運動をする。 【ターゲットシュート】</p>	<p>青チームの準備が素早くできている。</p> <p>マーカーのポイントが分からない子がいる。</p>												
10	<p>肘を高く上げて、うでを振りぬくことを助言する。 踏み込んだ足をねらう方向に向けることを声かけする。</p> <p>3. ゲーム 【総当たり戦】</p>	<p>ハンガーにかかっているゼッケンをよく見て投げている。しかし、腕だけで投げようとする子が多い。</p> <p>足を踏み込むが、十分に強い球を投げられない。(特に女子に多い。)</p>												
<p>赤 2対8 緑 ・ 白 7対1 青 ・ 黄 10対2 橙</p>														
20	<p>青チームに、空いている味方をさがしてパスをすることを助言する。 赤チームに、チャンスボールになったらゴール前へ走ることを声かけする。 『チャンスだ！ゴール前へ走って！』</p>	<p>空いている味方をさがすが、相手にマークされて、ボールを奪われてしまう。</p> <p>ゴール前に走ることができるが、パスが通らずに、相手に奪われてシュートを決められてしまう。</p>												
30	<p>動きが止まっている子へ動く場所を助言する。</p> <p>4. ゲーム 【総当たり戦】</p>	<p>フリーになってももらう声を出すことができない。</p>												
<p>赤 5対2 橙 ・ 白 3対4 黄 ・ 青 3対4 緑</p>														
40	<p>チャンスボールの声が出ているチームを称賛する。 橙チームに、守りから攻めに切り替わったときの、動き方を助言する。</p> <p>5. 振り返りと片付け 今日のナイスプレーを称賛し、全体にその動きを紹介する。 次時から、対抗戦に入ることを伝え、チームで作戦を立ててゲームすることを助言する。</p>	<p>チャンスになったときに、白チームのK君が、素早く前へ走っている。</p> <p>橙チームが、ゴールに近づいて、シュートを決める場面が出てきた。初めてゴールを決めることができた。 【楽しさ】 【協力】</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>26名</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>4名</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> </table>	A	26名	24名	B	4名	7名	C	1名	1名	D	1名	0名
A	26名	24名												
B	4名	7名												
C	1名	1名												
D	1名	0名												

【考察】

攻守の切り替えがはよくなってきた。シュートゾーンの前で敵のシュートを防いだり、マークしたりする姿が見られるようになった。また、長いパスをゴール前につないで、シュートする場面も何度か見られた。しかし、全体としては、『チャンスボール』『ピンチボール』の使い方が理解できていないため、次時も支援していく必要がある。

3年 組『チャレンジ!ハンドボール』授業記録 【第4時】10月14日(火)

	主な指導・支援 全体 チーム 個人	子どもたちの様相 全体 チーム 個人												
0	<p>1. 学習の準備をし、めあてを確認する。 対抗戦に入るため、単元計画表を見ながら、チームの作戦を意識してゲームをするように助言する。 チームノートで作戦の確認をさせる。</p>	<p>挑戦したいチームと対戦できるため、意欲が高まっていた。 作戦ボードを使って、自分たちが動く場所を確認していた。</p>												
10	<p>2. 慣れの運動をする。(パニックパス) いろんな方向からくるボールを確実にキャッチし、相手に返すように助言する。 味方が受けやすい所に投げるように声かけする。『相手の胸をねらって!』</p> <p>3. ゲーム 【対抗戦】</p>	<p>ボールを落とさずに、20回ぐらい続けて、パスを回すチームも見られた。(緑チーム・白チーム) Yさん、ドッジボールのようにキャッチするため、すぐにボールを落としてしまう。</p>												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><u>白</u> 2対3 <u>黄</u> ・ <u>緑</u> 3対4 <u>青</u> ・ <u>赤</u> 10対3 <u>橙</u></p> </div>														
20	<p>攻めと守りの切り替えを素早くするように声かけをする。 ボールを奪ったら『チャンス!前へ走れ』 ボールを奪われたら『ピンチ!戻れ』 Nさんに、パスをもらう声をかけるように近くに行って助言する。</p> <p>4. チームタイム</p>	<p>前に走っても、パスがつながらずに、ボールを持ったまま味方になげられないまま止まってしまう場面が多い。 ゴールの近くでパスをもらって、得点にはならなかったが、シュートを打つことができた。</p>												
30	<p>チームタイムの進め方の助言をする。 橙チームに、守る相手を決めてシュート防ぐことを助言する。</p> <p>5. ゲーム 【対抗戦】</p>	<p>話し合いに時間がかかってしまうチームが多い。 パス練習を中心に行っていた。(パニックパス)</p>												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><u>白</u> 0対5 <u>黄</u> ・ <u>緑</u> 2対4 <u>青</u> ・ <u>赤</u> 5対2 <u>橙</u></p> </div>														
40	<p>白チームに、ゴール前に近づいてシュートすることや手をあげてシュートを防ぐことを助言する。</p> <p>6. 振り返りと片付け 今日の作戦でうまくいったことやできなかったことを振り返らせ、次の時間の作戦を立てさせる。</p>	<p>パスが中央付近でカットされるため、得点につなげることができない。</p> <p style="text-align: center;">【楽しさ】 【作戦】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>A</td> <td>27名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>3名</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>2名</td> <td>1名</td> </tr> </table>	A	27名	19名	B	3名	7名	C	0名	5名	D	2名	1名
A	27名	19名												
B	3名	7名												
C	0名	5名												
D	2名	1名												

【考察】

めあて2の対抗戦に入り、各チーム作戦を立ててゲームを行ったが、攻守の入れ替えが遅い。『ピンチボール』『チャンスボール』の使い方を指導し、ゲームの展開を速くするように声かけをしていく。各チームで、作戦を立てているが、基本的なチームでの動き方(攻めを中心に)を助言する必要がある。

3年 組『チャレンジ!ハンドボール』授業記録 【第5時】10月17日(金)

	主な指導・支援 全体 チーム 個人	子どもたちの様相 全体 チーム 個人												
0	1. 学習の準備をし、めあての確認をする。 安全に気を付けて準備をさせる 『ピンチボール』『チャンスボール』の動き方の助言をする。	自分たちのチームの作戦をチームのみんなで確かめるようになった。 作戦ボードでポジションを確認していた。												
10	2. 慣れの運動をする。 (パスアンドシュート) あいている所を見つけて走りこんだり、パスをもらったりすることを助言する。	パスをもらったあとなかなかすばやくシュートすることができない。 走りながらパスを受けることが難しい。												
	青 5対2 橙 ・ 緑 5対3 白 ・ 赤 3対6 黄													
20	3. ゲーム 【対抗戦】 橙チームに、ゴール前の空いているスペースに走り込むタイミングを声かけする。 青チームに広がってパスをつないだり、あいている味方にパスをしたりして、シュートできるように助言する。	ボールを持った子を追い越して、前方でパスを受ける場面が多くなった。 空いている味方が、『パス、パス』の声かけをして、パスを受けるようになった。												
30	4. チームタイム リーダーが欠席していた赤チームに、ボールを持ってない人が動いてパスをもらったり、声を出してパスをもらったりすることを助言する。	パスアンドシュートをチームで工夫して、練習していた。(緑、白) 赤チームに、2対2の練習方法を助言する。												
	青 7対5 橙 ・ 緑 9対6 白 ・ 赤 0対6 黄													
40	5. ゲーム パスをしたら前に走って、もう一度パスを受けたり、相手を引きついたりすることを中心に助言する。	全体的に攻守の展開が速くなってきて、入る得点が多くなってきた。												
	6. 振り返りと片付け 本時ポイントの空いているところに動くことができたか、チームで振り返らせよかった動きを発表させる。	【楽しさ】 【作戦】												
		<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>24名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>5名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>2名</td> <td>1名</td> </tr> </table>	A	24名	19名	B	5名	12名	C	1名	2名	D	2名	1名
A	24名	19名												
B	5名	12名												
C	1名	2名												
D	2名	1名												

【考察】

攻守展開が速くなり、シュート場面が多くなり、それに伴い、得点が多くなってきた。しかし、うまくパスが繋がらないチームもある。ボールを持っていない人の動きがポイントになるため、具体的にコートはどこに動けばいいのか、どうやってマークをはずしてパスをもらえばいいか助言する必要がある。

	主な指導・支援 全体 チーム 個人	子どもたちの様相 全体 チーム 個人
0	1. 学習の準備をし、めあての確認をする。 (場・用具) 2. 慣れの運動をする。 (パスアンドシュート) パスをしたら走る パスの後、走ることを意識している。	対抗戦の進め方を確認させ、自分のめあてとチームの作戦の意識化を図った。
10	3. ゲーム 【対抗戦】	ゴール前へ走り込むタイミングを助言した。
	橙 1対1 白 ・ 赤 3対0 青 ・ 黄 2対2 緑	
20	赤チームが、ゴール前のスペースをうまく使って、パスをつなげていた。 全体的に活発に動いているが、シュートまでなかなかつながらない。	ゲームの動きを見ながら、チーム全体のポジショニングの助言をした。『前へ』『広がって』
30	4. チームタイム 作戦ボードを使って、自分たちの動きを確認していた。 シュートまでパスがうまくつながらない原因を話し合ったり、パスした後の動きを練習したりする姿が見られた。	『ゴールをみて』『打て』の声かけをし、シュートを打つタイミングを助言した。
40	5. ゲーム 【対抗戦】	青チームに、作戦ボードを使って
	赤 4対1 白 ・ 青 2対2 黄 ・ 橙 1対1 緑	
	ゲーム よりも、パスのつながる回数が全体的に増え、動きも活発になった。	化を図った。
	6. 振り返りと片付け 相手チームのパス&ゴールの動きのよさを見つけ、発表していた。	空いたスペースに走りこむ指示を繰り返し行った。 青チームの『スペースを使った動き』を紹介し、称賛した。

【考察】

『パス&ゴール』の動を意識している児童は少ないが、スペースを見つけて走りこむ動きが見られるようになってきた。スキルアップタイムで練習した動きがゲームで意識されていると考えられる。また、女子が積極的にゲームに参加するようになり、シュートを打つ場面がみられるようになったのは、それぞれのチームでのまとまりがでてきたためと考えられる。

5年 組『サッカー～めざせ！ファンタジスタ～』授業記録 【第7時】1月31日(木)

	学 習 活 動 と 様 相	支 援
0	<p>1. 学習の準備をし、めあての確認をする。 (場・用具) 準備が終わったチームから、ボールタッチをする【足の裏・インサイド・リフティング・ドリブル】</p>	<p>自分のめあてとチームの作戦の意識化を図った。</p>
10	<p>2. スキルアップタイムをする。 (スルーパス・三角パス) 走り込むタイミングを徐々につかめるようになった。 パスの後、走ることを意識してきた。</p>	<p>リフティングの回数が上がった子を称賛した。</p> <p>チームで三角パスかスルーパスを選択させ、作戦にあったスキルアップを練習させた。</p>
	<p>赤 4対0 黄 ・ 橙 1対1 緑 ・ 青 1対1 白</p>	
20	<p>緑チームが、パス&ゴールを使って、前線まで攻め上がり、シュートを打つ場面がみられた。 青チームが、お互いに声をかけあうようになり、パスがつながってきた。</p>	<p>『前へ』『ゴールに向かって』『サイドを使って』と攻めるタイミングやスペースの使い方を助言した。</p>
30	<p>4. チームタイム 橙チームが、パスに課題をもち、3対2の練習をして、動きを確認しあっていた。 白チームは、スキルアップタイムで練習したスルーパスを使って、スペースに走りこむ動きを練習していた。</p>	<p>フリーなときは、ボールを止めてインサイドキックでパスすることを助言した。</p> <p>黄チームに、作戦ボードを使って、パスした後に『スペースに走ることを助言し、ゲームに向けての意欲化を図った。</p>
	<p>赤 3対1 黄 ・ 橙 1対1 緑 ・ 青 0対2 白</p>	
40	<p>白チームの女子の動きが活発になった。 パス&ゴールの動きが徐々に出てきた。</p> <p>6. 振り返りと片付け 橙チームのパスのつながりのよさを見つけ、発表していた。</p>	<p>空いたスペースに走りこむ指示を繰り返し行った。</p> <p>緑チームの『パスの受け方』を紹介し、称賛した。</p>

【考察】

『ボールをもたない人の動き』を意識しながら活動させることが、ゲームを活発にすることにつながった。空いたスペースを見つけたり、ゴールに近い所でパスを受けたりして、シュートチャンスを増やしていた。しかし、黄チームが、パスがなかなか成功せずにシュートチャンスが作れなかった。

5年 組『サッカー～めざせ！ファンタジスタ～』授業記録 【第8時】2月5日(火)

	学 習 活 動 と 様 相	支 援
0	<p>1. 学習の準備をし、めあての確認をする。 (場・用具) 準備が終わったチームから、ボールタッチをする【足の裏・インサイド・リフティング・ドリブル】</p>	<p>最後の対抗戦ということ伝え、チームのめあてを達成することを意識させた。</p>
10	<p>2. スキルアップタイムをする。 (スルーパス・三角パス・対面パス) リズムよくパスがつながってきた。 橙チームが、スルーパスをうまく使っていた。</p>	<p>スペースに走りこむ動き(パスを出す相手をみながら)や正確にパスを出すポイント(キックのときは、しっかりボールを見る)を助言した。</p>
	<p>赤 3対1 黄 ・ 青 1対1 橙 ・ 白 0対3 緑</p>	
20	<p>青チームで、今まであまりボールを受けられなかった子が、パスをできるようになった。 赤チームの女子が、積極的にゴール前へ走りこみ、シュートを打っていた。</p>	<p>『 がフリー』『チャンス』の声かけをし、パスやシュートのタイミングを助言した。</p>
30	<p>4. チームタイム 作戦ボードをうまく活用し、ゲーム に向けて、作戦を立て直していた。 シュート練習をするチームが増えた。</p>	<p>白チームに、作戦ボードを使って、ポジショニングを助言し、ゲーム に向けての意欲化を図った。</p>
	<p>赤 4対2 黄 ・ 青 0対4 橙 ・ 白 0対2 緑</p>	
40	<p>緑チームのスペースへ走りこむ動きが何度も見られ、得点のチャンスにもつながっていた。 全体的動きが活発になった。</p>	<p>声をかけあうことを助言した。</p>
	<p>6. 単元の振り返り サッカーの学習を通して、学んだことや友達の上手になった動きを発表しあった。</p>	<p>リーダーの頑張りを認め、みんなの前で称賛した。</p> <p>どのチームもまとまりが出てきたことを伝え、称賛した。</p>

【考察】

最後の対抗戦ということもあり、ゲームに勝つために各チームとも活発に動いていた。また、チームでパスをつなぐ意識が高まり、チーム内の全員がシュートをうつところもあった。さらに、攻め方の作戦だけでなく、自然と守り方の工夫が見られるようになった。しかし、単元を通して練習してきたスキルアップタイムのパス&ゴールの動きは、あまり多くは見られなかった。

めあてカルテ 【個人のめあて】 リーダー

名前	第一時	第二時	第三時	第四時	第五時	第六時(本時)	第七時
赤	M	シュートができるようになる	パスをしよう	声かけする	全員にパスを回そう	欠席	全員にパスを回そう
	K	ゴールをいっぱいする	ゴールにきたボールを止める	できるだけボールを止める	みんなにパスをする	みんなにパスしてシュートする	空いている所でシュートする
	U	見学	見学	パスをしながらシュートする	みんなにパスをまわしたい	声を出す	声を出してパスをもらう
	Y	いっぱいシュートする	ゴールをまもる	みんなに声かけをする	シュートをたくさんする	シュートをねらう	たくさんパスをする
	N	パスを交代でする	パスをきちんとあげる	ゴールを守る	みんなでするパスでゴールする	みんなでする	パスを交代でする
	H	シュートをする	パスをたくさんする	パスをたくさん出す	みんなにパスをわたす	たくさんシュートをする	シュートを決めたい
白	K	シュートを決める	4点入れる	パスをうまくする	合図をしてうまく点をとる	みんなにパスをつなぐ	いっぱいシュートをする
	Y	パスをがんばる	しっかりゴールをふせぐ	チームのちからになる	ふせぎ方をくふうする	チャンスボールでする	たくさんシュートする
	I	楽しくなかよくする	上手にパスをする	きょう力してたたかう	みんなにパスをする	しっかりまもる	ジャンプしてブロックする
	K		まもりをがんばる		パスをたくさんする	シュートをたくさんする	自分のポジションをまもる
	A	一点はいれる	3点入れる	守りをかためる	シュートをとめる	相手にマークをつける	相手にマークをつく
	I	ルールをわかりたい	ぜったいにまもる	まもりをがんばる	シュートしてみたい	あいているところに動く	勝ちたい
青	K	パスとシュートをくふうする	声かけをくふうしよう	欠席	パスをたくさんしよう	前にパスを出そう	フリーな人へパスを出そう
	M	パスをしよう	ルールをおぼえよう	シュートを決めよう	みんなにパスをする	みんな一人ずつシュートする	みんなでするパスをまわそう
	N	シュートをしよう	シュートをしよう	パスをつなげよう	パスをつなげよう	パスをつなげよう	シュートして点をいれよう
	K	とくてんしてみたい	みんなにできるだけパスする	友達にシュートさせる	友達にシュートさせる	女の子にシュートさせる	
	N	ゴールできるようにする	パスが通るようにする	パスをつなげる	ゴールを決める	シュートをたくさんうつ	シュートを打つ
	Y	フリーパスをする	見学	シュートを決める	シュートをする	シュートする	パスをつなげよう
黄	S	一回はゴールをいれよう	パスをしてシュートする	パスをもらうためにはなれる	シュートをいれる	シュートをたくさんする	パスをいっぱいする
	Y	一回でも点を入れる	パスをしてゴールに入れる	みんなでするゴールに入れる	パスやシュートをたくさんする	シュートしてない人にパス	みんなにシュートさせよう
	I	パスをがんばる	シュートを一回でも多くする	シュートをする	パスをさせてもらうように動く	シュートをたくさんする	パスをじょうずにおくる
	K	協力してシュートをねらう	協力してシュートをねらう	シュートをたくさん入れる	パスをつなげてシュートする	パスをつなげてシュートする	まもりをじょうずにする
	N	シュートを10点入れる	シュートを入れる	シュートを入れる			
緑	U	シュートをする	シュートをする	パスをつなげてシュート	パスをつなげてとくてんする	パスをつなげて得点する	てきのあいている所を使う
	K	ルールになれよう	3点とる	4点とる	パスをもらってゴールする	パスをして点をとる	シュートを入れる
	K	勝ちたい	みんなシュートする	みんなできょう力する	パスワークをよくする	声・パスに気を付ける	スペースへ動きたい
	I	パスをじょうずにする	シュートを上手にする	点数をたくさんとる	パスやシュートをする	パスやシュートをじょうずに	パスをうまくしてシュートする
	S	かつ	パスをして勝つ	みんなにパスをする	みんなにパスをする	味方にパスをつなぐ	味方にパスができるように
	F	シュートをする	シュートをする	パスをつなげてシュートする	パスをたくさんつなげる	パスをつなげてシュートする	パスをつなげて3回シュート
橙	K	動きをすばやくする	ボールをたくさん受け止める	相手にとられないようにする	相手にボールをとられない	できるだけわざをふやす	空いている所でパスをもらう
	O	シュートをできるようにする	シュートをできるようにする	パスを遠くに投げる	シュートをいっぱい決める	パスをいっぱいつなぐ	シュートをみんなでする
	N	シュートをがんばる	声を大きく出す	相手の動きをよく見る	ボールをまっすぐ投げる	味方にとりやすいパスをする	みんなでするシュートを決めたい
	K	パスをうまくする	キャッチがうまくできるように	シュートを決める	キャッチがうまくなるように	パスをうまくする	きょう力してシュートする
	H	欠席	欠席	パスをする	欠席	欠席	
		めあて1			めあて2		

チームカルテ【チームのめあて(作戦)】・・・ 作戦 支援

チーム名(色)	第一時	第二時	第三時	第四時	第五時	第六時(本時)	第七時
赤 レッド イーグルス	ゴールにボールを入れよう	全員にパスが回るようにしよう	後ろパスをしよう	全員にパスが回ってオーバーパスのほかのわざもしてみよう	ピンチの時は、声を出してすばやくもどってまもらう	あいているところに回ってパスをしてシュートしよう	
	みんながボールをさわれるように声かけ 得点 5・失点 5	フリーな人が声を出すように助言 得点 4・失点 1 9	チャンスボールのカードの提示 得点 1 3・失点 4	パスをうける場所の声かけ 得点 1 3・失点 4	ピンチボールのカードの提示 得点 3・失点 1 2	パスを出したら走るように声かけ 得点・失点	
白 ホワイトスタ ードラゴン	シュートやパスをうまくする	パスをうまく回してシュートする	パスを回して、ディフェンスもかたくする	マークされていない味方を見つけてパスをだそう	マークされていない味方を見つけてパスをだそう	パスをうまく回してシュートにつなげよう	
	パスの仕方やシュートの仕方を助言 得点 5・失点 5	あいている人が声を出すように助言 得点 3・失点 5	チャンスになったらみんなでゴール前に走る声かけ 得点 1 0・失点 5	ボールを持っていない人が声を出すように助言 得点 2・失点 8	フリーな人が声をだすように助言 得点 9・失点 1 4	フリーな人をさがしてパスする声かけ 得点・失点	
青 ブルースカイ	パスをうまくする	みんなにパスを回してシュートする	みんなにパスを回してシュートする	シュートするとき、キーパーのはんたいがわをねらってなげる	シュートゾーンに近づいて、マークをふりきってシュートしよう	マークされていない味方を見つけ、すばやくパスを出そう	
	ボールの投げ方を助言 得点 5・失点 8	あいている人が声を出すように声かけ 得点 1 7・失点 5	動き方のカードの提示 得点 5・失点 1 0	シュートの投げ方を助言 得点 5・失点 8	ゴール前に走り込む方法を助言 得点 1 2・失点 7	女子への声かけ・シュートのタイミング 得点・失点	
黄 イエロー タイガーズ	チームワークを大切に する。	全員にパスしてシュートする	パスを遠くの人におく る	パスができるスペースに動いておく	ボールを持っていない人がパスをもらう動きをしよう	パスがもらえるようにあいているところにすばやく動いて声をだそう	
	ルールやマナーを守る声かけ 得点 8・失点 5	フリーな人がパスをもらえるように助言 得点 1 4・失点 7	前に走ってパスをもらう声かけ 得点 1 4・失点 5	あいているところを助言 得点 8・失点 2	チームでまとまるように声をかけあうように助言 得点 1 2・失点 3	ボールをもっていない人の動き方 得点・失点	
緑 ドリーム グリーン	みんなでパスをする。 シュートする。そして勝 つ	パスをして、シュート する	相手をだましてパスを して、シュートする	あいているところをつ かってゴールをねらおう	あいているところをつ かってゴールをねらおう	みんなでパスを回し て、シュートを決める	
	フリーな人は声をだすよ うに助言 得点 7・失点 0	ボールをもっていない人の動きを声かけ 得点・失点 7	ボールを持っていない人が声をだすように助言 得点 8・失点 5	あいているところを助言 得点 8・失点 5	ゴールに近づいてシュートする声かけ 得点 1 4・失点 9	ボールをもたない人の動き方を助言 得点・失点	
橙 オレンジ ファイヤーズ	動きをすばやくしてシ ュートする	かけ声をかけあい、さ くせんどおりにして勝つ	かけ声をかけあい、さ くせんどおりにして勝つ	チームをよくするため にしっかりさくせんを立 てる	チャンスボールになっ たら、声を出してゴール に走ろう	ボールを相手が持った ら、二人ですばやくうば いにいく	
	ボールをとった前に走る 声かけ 得点 0・失点 7	広がる声かけ 得点 3・失点 1 1	チャンスボールになった ときの声かけ 得点 4・失点 1 5	ポジションのとり方の助 言 得点 4・失点 1 3	空いているスペースの 声かけ 得点 7・1 2失点	シュートをうつタイミン グの声かけ 得点 失点	

チャレンジ！ハンドボール

3年 組 名前【 】

〈こじんカード〉

チーム名
メンバー

できた…A、 だいたいできた…B、 あまりできなかった…C、 できなかった…D

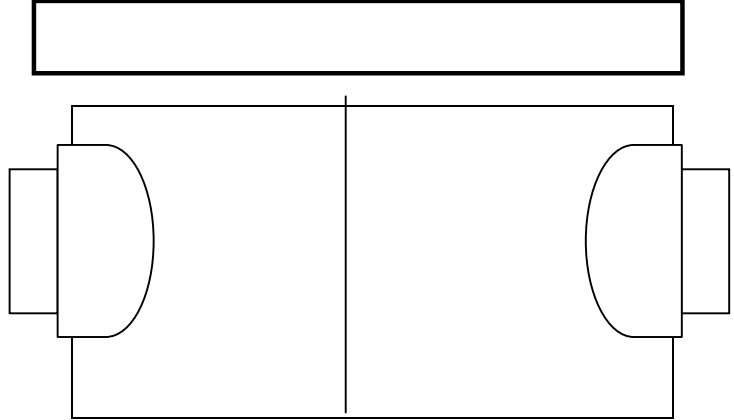
月日	めあて	学習のふりかえり
第一時	自分のめあて ----- -----	楽しかったですか。 【 】 チームできょう力できましたか。 【 】 シュートができましたか。 【 回】
	今日の学習で ----- -----	ルールがわかりましたか。 【 】 じゅんび・片づけはできましたか。【 】
第二時	自分のめあて ----- -----	楽しかったですか。 【 】 チームできょう力できましたか。 【 】 シュートできましたか。 【 回】
	今日の学習で ----- -----	ルールが分かってきましたか。 【 】 じゅんび・片づけはできましたか。【 】
第三時	自分のめあて ----- -----	楽しかったですか。 【 】 きょう力できましたか。 【 】 シュートができましたか。 【 回】
	今日の学習で ----- -----	ルールが分かってきましたか。 【 】 じゅんび・片づけはできましたか。【 】
第四時	自分のめあて ----- -----	楽しかったですか。 【 】 きょう力できましたか。 【 】 シュートができましたか。 【 回】
	今日の学習で ----- -----	作せんがうまくいきましたか。 【 】 じゅんび・片づけはできましたか。【 】
第五時	自分のめあて ----- -----	楽しかったですか。 【 】 きょう力できましたか。 【 】 シュートができましたか。 【 回】
	今日の学習で ----- -----	作せんがうまくいきましたか。 【 】 じゅんび・片づけはできましたか。【 】
第六時	自分のめあて ----- -----	楽しかったですか。 【 】 きょう力できましたか。 【 】 シュートができましたか。 【 回】
	今日の学習 ----- -----	作せんがうまくいきましたか。 【 】 じゅんび・片づけはできましたか。【 】
第七時	自分のめあて ----- -----	楽しかったですか。 【 】 きょう力できましたか。 【 】 シュートができましたか。 【 回】
	今日の学習で ----- -----	作せんがうまくいきましたか。 【 】 じゅんび・片づけはできましたか。【 】

チャレンジ！ハンドボール

〈チームノート〉【めあて2～たいこうせん～】

チーム名	
だい 時	月 日()

今日のチームのめあて

ゲーム をふりかえって	図(作せん名)
ゲーム に向けて	

【し合のけっか】

	点 数	かち ・まけ×	とく点した人 あ
ゲーム	あい手【 】 V S		
ゲーム	V S		

今日の学習をふりかえって(よかったところ・うまくいかなかったところ・よかった声かけなど)

【次の時間にやってみたい作せん】

今日のMVP【 】

りゆう・・・

体育 「ハンドボール」 アンケート 学習後
3年 組 ()

(めあて)

1 「ハンドボール」は好きですか。 (とても好き すき 少しきらい きらい)

そのわけは? チームワーク 作せん パス、シュートの動き 声かけなど

1 ハンドボールは、楽しかったですか。
(とても楽しかった 楽しかった あまり楽しくなかった 楽しくなかった)

3 自分やチームに合っためあてを考えることができましたか。
(よくできた できた あまりできなかつた できなかつた)

4 ゲームの中で、めあてを考えながらプレーできましたか。
(よくできた できた あまりできなかつた できなかつた)

5 チームのメンバーできょう力して、チームタイムやゲームができましたか。
(よくできた できた あまりできなかつた できなかつた)

6 道具のじゅんぴや後かたづけを、時間内に進んでできましたか。
(よくできた できた あまりできなかつた できなかつた)

7 パスされたボールを落とさずにとることができましたか。
(よくできた できた あまりできなかつた できなかつた)

8 わたしたい人に正しくパスをすることができましたか。
(よくできた できた あまりできなかつた できなかつた)

9 思ったところにシュートをして、ゴールを決めることができましたか。
(よくできた できた あまりできなかつた できなかつた)

10 「ハンドボール」の学習を終えて、自分やチームがのびたところ、よかつたところ

体育 「ハンドボール」 アンケート

3年 組 ()

1 運動することが好きですか。 (とても好き すき 少しきらい きらい)

2 ボール運動は好きですか。 (とても好き すき 少しきらい きらい)

3 そのわけは？

4 「ハンドボール」は好きですか。 (とても好き すき 少しきらい きらい)

5 そのわけは？

1 学期のタグラグビーやマット遊びについて

6 自分のめあてをかんがえることができましたか。
(よくできる できる すこしできる できない)

7 ゲームや遊びの中でめあてができましたか。
(よくできる できる すこしできる できない)

8 ともだちとなかよくゲームや遊びができましたか。
(よくできる できる すこしできる できない)

9 道具のじゅんぴやかたづけを進んでできましたか。
(よくできる できる すこしできる できない)

ハンドボールについて

10 ボールを遠くへなげることができますか。
(よくできる できる すこしできる できない)

11 わたしたい人にボールをパスすることができますか。
(よくできる できる すこしできる できない)

12 思ったところにシュートをすることができますか。
(よくできる できる すこしできる できない)

13 「ハンドボール」でやってみたいこと・先生に話しておきたいことを書きましよう。

こんなめあての立て方があるよ！

パスをうまくつなげたいときは・・・

『マークされていない味方を見つけて、すばやくパスを出そう！』

『マークをはずして、ボールを持っていない人がパスをもらう動きをしよう！』

『パスがもらえるように、あいているところにすばやく動いて声を出そう！』

上手にせめたいときは・・・

『味方がボールをとったら、前のあいているところにすばやく走ろう！』

『チャンスボールになったら、声をだして、チームのみんなでゴール前へ走ろう！』

『シュートゾーンに近づいて、マークをふりきってシュートをしよう！』

まもりをうまくしたいときには・・・

『相手にボールをとられたら、みんなですばやくもどってまもろう！』

『かたまらないで広がって、自分のマークする相手をきめてまもろう！』

『ボールをもっている相手には、二人でボールをうばいにいこう！』

『ピンチのときは、声をだして、すばやくもどってまもろう！』

チームワークを大切にしたいときは・・・

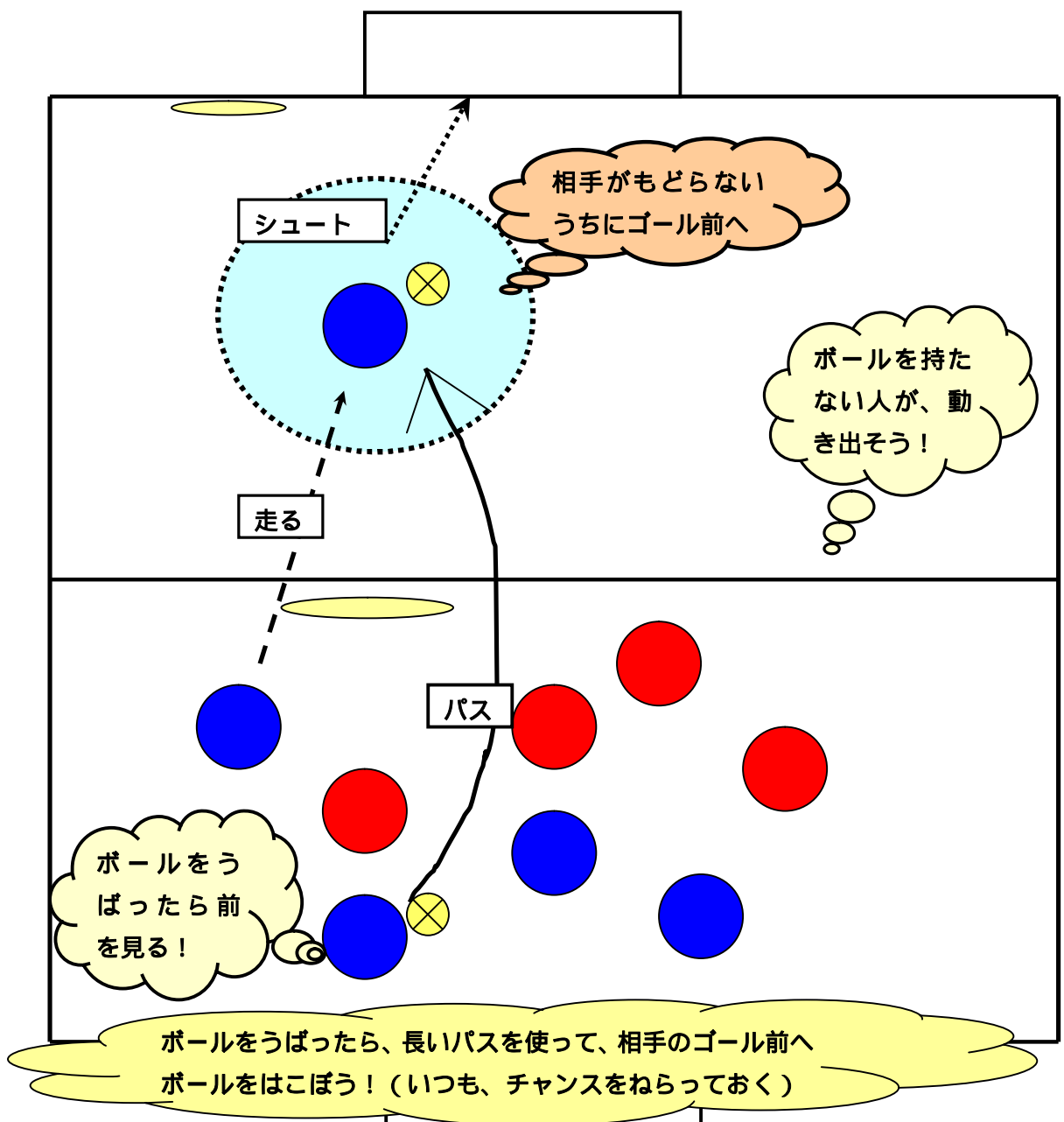
『ドンマイ、ナイスシュートなどはげましの声をかけて、チームを盛りあげよう！』

チャンスボール

1

【相手からボールをうばったら大きな声で『チャンスボール！』】

一番先にゴール前に走りこむ人を決めておこう！



ハンドボールルール表

コートはたて25m、よこ12m

ゲーム時間(前半2分半、後半2分半)

ゲームは4対4

ボールをドリブルせず、パスでゴールに運ぶ

ディフェンスゾーンの外からシュートしてゴールの中にボールが入ったらとく点。

ボールをもって5歩以上歩いてはいけない。

はじめはコートの真ん中からフリーパス。とく点が入ったあとも真ん中から相手のボールでフリーパス。

フリーパスとは、守りのチームがパスをとってはいけないこと。

1回パスが出るまで前には出てはいけない！

サイドラインから出たときは相手チームのスローイング

反そくがあったらサイドラインから相手のスローイング

<してはいけないこと>

・相手の体にさわってはいけない。

・ドリブルしてはいけない。

・ボールをもって3歩以上歩いてはいけない。

< コートの場所と試合相手 > (めあて2)

	1コート	2コート	3コート
	コート作り AとB	コート作り CとD	コート作り EとF
ゲーム 1	A対B	C対D	E対F
ゲーム 2	A対B	C対D	E対F

コート ()
()

ゼッケン ()

タイマー ()

得点板 ()

学習ノート ()

チーム \ 仕事	A赤	B白	C青	D黄	E緑	Fオレンジ
コート						
コート						
ゼッケン						
とく点ばん タイマー						
ノート						

めあて1

	A赤	B白	C青	D黄	E緑	F オレン ジ
A赤						
B白						
C青						
D黄						
E緑						
F オレ ンジ						

めあて2

	A赤	B白	C青	D黄	E緑	F オレン ジ
A赤						
B白						
C青						
D黄						
E緑						
F オレ ンジ						

強くなるチームのひみつ！

じゅんびや後かたづけがはやい！

あいさつがきちんとできる！

(声が大きいとさらにいいチームだ！)

はげましの声をかけあうことができる！

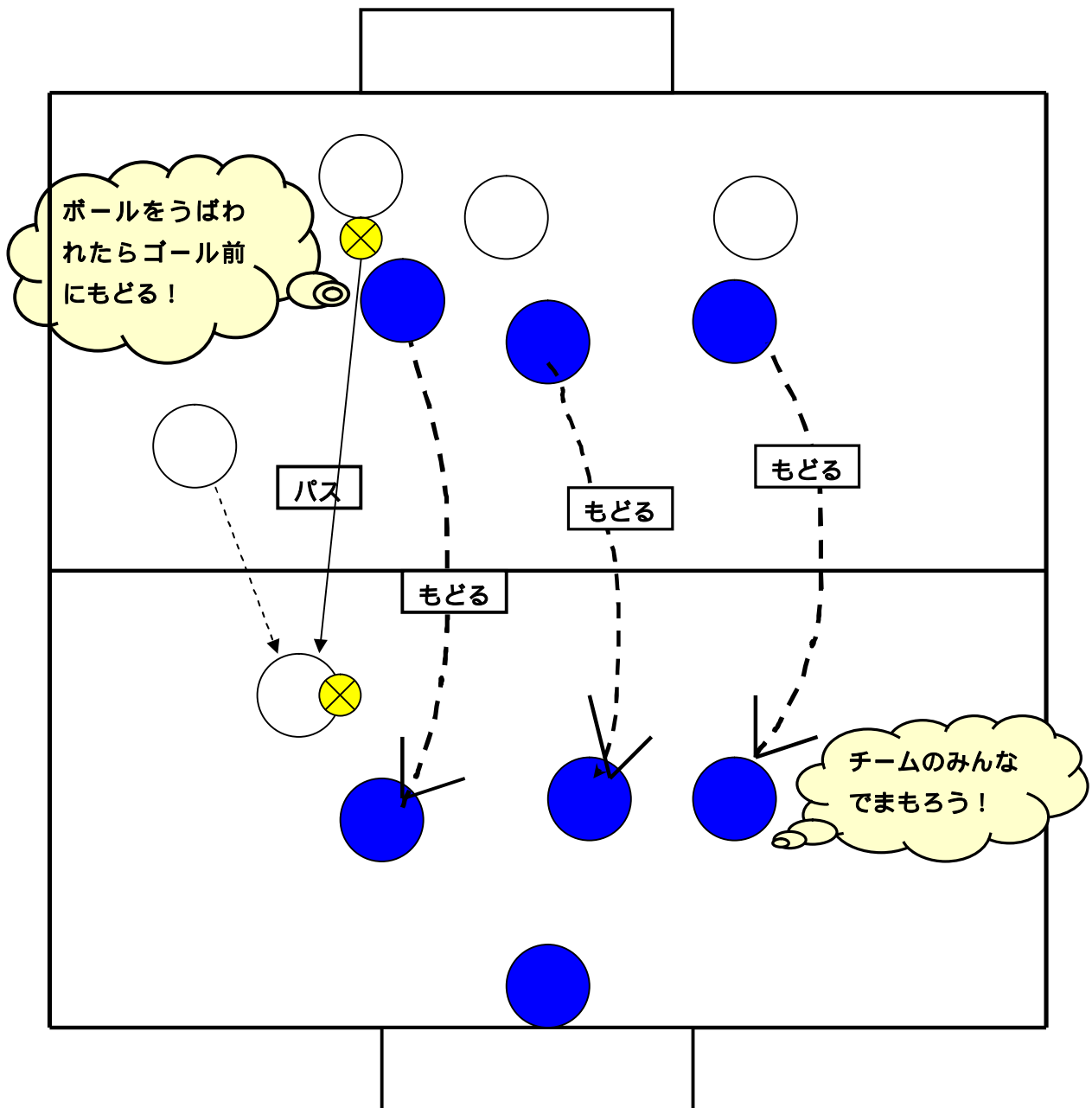
負けても、勝ったチームをほめたたえることができる！

チームのみんなで勝利に向かってさいごまでたたかう

ことができる！

ピンチボール

【相手からボールをうばわれたら大きな声で『ピンチボール！』】
一番先にゴール前にもどる人を決めておこう！～



ボールをうばわれたら、みんなで走って、自分たちのゴール前へ走ってもどろう！（もどる場所をきめておいたらいいね）